# 令和４年度 事業報告
# 【 看護付小規模多機能ホーム 上牧の郷 】

＜数値目標＞

1. 登録率 100%を目指す
2. 訪問系サービスの充実を図るべく、１日５件のサービス提供を目指す
3. 職員定着率 100%を目指す
4. １日１件見過ごしているヒヤリハットに気づく

＜報告＞

1. 最大登録率 84%、平均登録率 80%で目標を達成できませんでした

①看多機の紹介パンフレットや宣伝ＦＡＸを新たに作成し、病院などに営業を行いました。ご紹介いただいた病院については、ご利用いただいた状況を写真などで丁寧に報告し、信頼感関係を築くように努めました

②体調観察を丁寧に行い、ご家族様と連携し受診に繋げるなど、重度化を予防いたしました

③退院前カンファレンスに参加し、またセラピスト等と情報を共有し、受け入れ態勢を整えることで安心して利用を開始していただけました

2. 訪問系サービスは１日 9.6 件と達成できました

在宅生活が継続できるよう必要なタイミングで訪問サービスを実施いたしました

3. 職員定着率は 66%と達成できませんでした

看護師としての医療業務が少ないことや、看護小規模多機能の役割についてうまく伝えられていなかったことで、看護師の退職が続き定着率を下げてしまいました

4. ヒヤリハットは月平均 1.8 件で、達成できませんでした

一部の職員がマイナスのイメージを持っていたことで、うまく取り組むことができませんでした。この状況を変えるため、職員の意識の改革を図り、3 月から職員一人につき毎月１件以上のヒヤリハットを提出することにしました

＜行動目標＞

1. より良いサービス提供のため、職員全体のチームワークの構築を図る
2. ご利用者様の笑顔のために、良いと思えることには何にでもチャレンジしていく
3. 職員一人一人の資質向上を図り、ご利用者様へ最高のサービスを提供する

＜報告＞

1. 職員全体のチームワークの向上が図れました

   ネガティブな言葉が減り、何でも言い合える関係性が出来、お互いが注意し合える場面が増えました

2. 新しい試みにチャレンジすることができました

   全職員と共に、月毎の歌を歌い演奏する音楽活動や、非日常の食事を楽しむ『ハッピーランチ』の毎月開催、壁面製作やお菓子作りにも取り組みました。また、ご利用者様の活動量を上げるために、ラジオ体操を職員とともに行うことを日課としました。さらに、個別機能訓練としてプログラム『どっこいしょ体操』を作成し、実践しました

3. 入職時の研修を見直し、新しい職員が働きやすい環境を整えました

   特に、看護小規模多機能における看護師の役割や仕事の内容、分担等についてマニュアルを作成し、職員全員での共通理解としたことで、職種間での相互理解が進み、退職予防にもつながりました